

新たな産業団地の整備計画 概要(案)

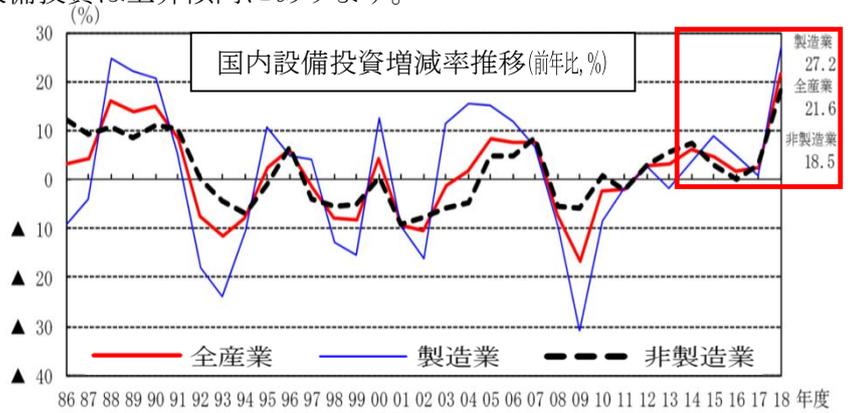
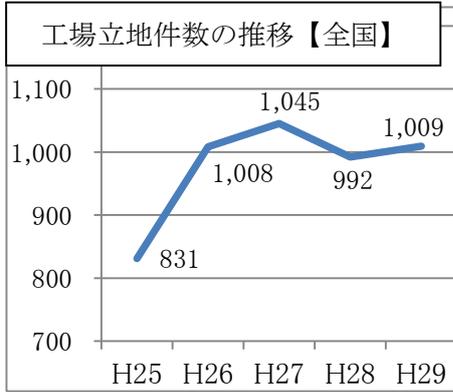
1. 計画の要旨

「東九州のクロスポイント」としての優位性を生かし、「クレアパーク延岡」（延岡市天下町）内に「新たな産業団地」を整備します。

2. 背景・経緯

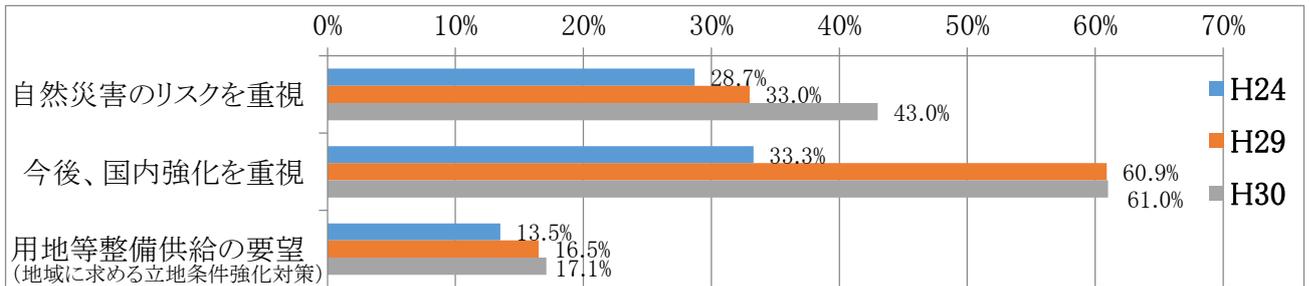
①全国の工場立地や企業の設備投資動向（経済産業省、日本政策投資銀行）

・全国の工場立地件数や国内の設備投資は上昇傾向にあります。



②新規事業所立地計画に関する動向（日本立地センター）

・企業が新規に立地する際には、災害リスクや国内強化を重視しています。



③県内における企業立地や工業団地の整備の動向

- ・県内の企業立地状況を見ると、製造業では年間 20～30 件と堅調に推移しています。最近では、日機装(株)が宮崎市、キヤノン(株)が高鍋町へと大型企業の立地が相次いでいます。
- ・すでに宮崎市や都城市、えびの市が新たな工業団地の整備を進めています。

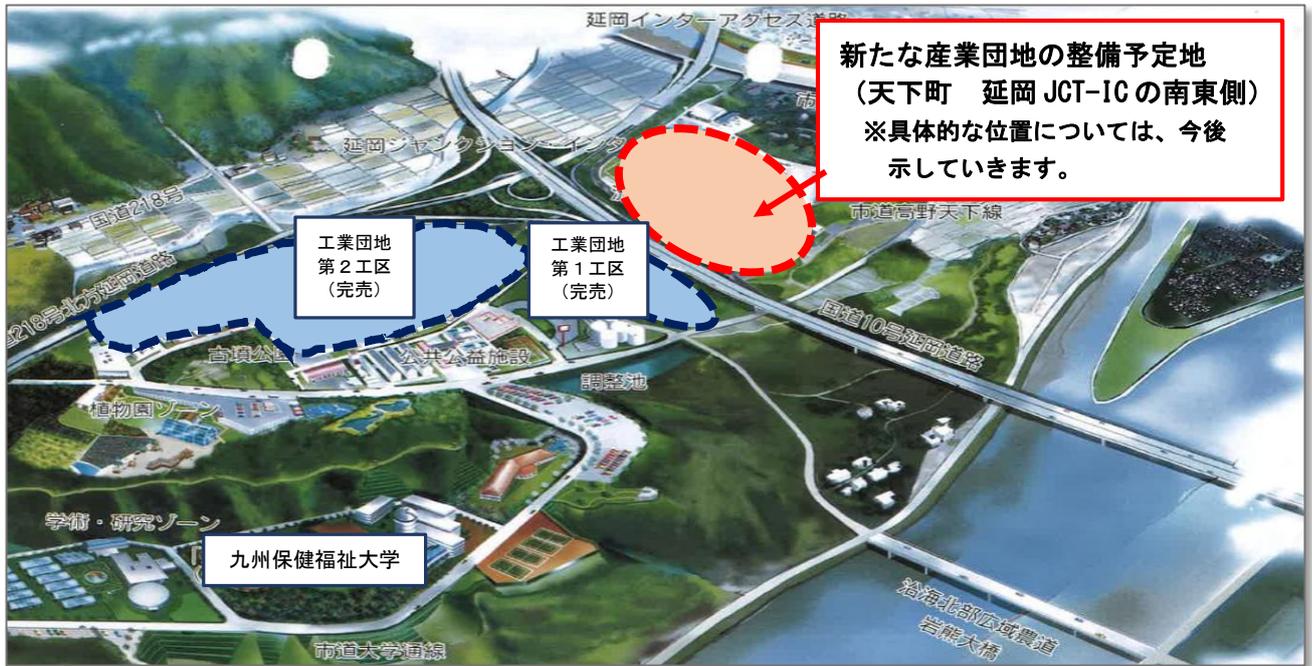
④本市の状況と経緯

- ・クレアパーク延岡工業団地第 2 工区への立地が加速度的に進み、すでに完売となりました。それにより、1 工区と 2 工区合わせて 900 人程度の雇用が実現しようとしています。
- ・企業の設備投資意欲が高まる中、今後の自治体間競争を勝ち抜くためにも、新たな団地の整備が喫緊の課題となっています。このため、平成 29 年度に適地選定調査を実施。その後、調査の内容を踏まえて、様々な要件を検討・整理してきました。
- ・現在も、本市への企業進出に関して、さまざまな問い合わせが寄せられているところです。

3. 新たな産業団地の整備方針

- ① 人口減少に歯止めがかからない中、雇用の場を増やすことは喫緊の課題です。そのため、我が国の企業が国内投資に向おうとしているこの機を逃すことなく、新たな団地の整備を行います。
- ② 企業の求める立地スピード感に対応するため、「レディメイド方式」での団地の整備を進めます。
- ③ 団地の規模については、整備による相当の経済効果や他市の事例を踏まえ、「クレアパーク延岡工業団地第 2 工区」と同程度の規模とします。

4. 新たな産業団地について（第6次延岡市長期総合計画の基本構想に示された「クレアパーク延岡」内）



1) 主な選定理由

- ①有効面積が10ha以上確保できる。
- ②「高速道ICからのアクセス性」が高く、「津波等の災害に対するリスク」が低い。
- ③第6次延岡市長期総合計画に位置付けられ、団地としての整備方針が示されており、都市計画法等の法規制上の手続きなどをスムーズに進めることができる。
- ④近隣の幹線道路や上下水道のインフラが整っており、整備コスト面でのメリットも大きい。

2) 整備地の概要

- ①面積（概算）
分譲面積：約10ha（開発区域は20ha程度）
- ②整備費用（概算）
総事業費 約28億円（土地開発公社に委託して実施の予定）

3) 整備スケジュール（※現時点で想定されるスケジュールであり、早期の完成を目指す）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
設計、用地取得・交渉	→					
開発許認可手続・文化財調査		→				
造成工事				→		
企業誘致活動			→			

5. 企業誘致活動と計画の進め方について

- ・企業誘致活動については、新たな団地の整備と並行して、現在分譲中の「リサーチパーク向洋台」への立地や、オーダーメイド方式による市有地等への立地を進めるとともに、引き続き、中心市街地への情報関連企業への誘致にも積極的に取り組んでいきます。
- ・また、整備予定地域の交通渋滞解消や排水整備などをはじめ、地域の要望や課題解決にもしっかり取り組んでまいります。そのため、計画の推進と合わせて、地域の皆様との協議を丁寧に行ってまいります。